

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	千代田区外神田2-17-4
園名	保育室「愛の園」

1. 活動のテーマ

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実施し、日認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

開園以来、月2回30分ずつの英会話教室の中で、子どものみならず保育士も共に参加して一緒に英語に触れて参りました。そんな中、外国人の保護者の方が数名いることから、お迎えに来ると英語で話しかけてみようするなど、英語への興味関心が高まってきていると感じます。今回はプレバレーションさんによる英語教室の中で生きた英語に触れ、日本語や英語など言葉への興味をもっと高めていけると思っています。またネイティブの保育補助も入り、外国の方との交流を深めて参ります。

2. 活動スケジュール

乳児は英語と日本語の絵本に触れ、違いについて知る機会を持つ。幼児は「英語と日本語と言い方が違うのはなぜ?」「外国の人は英語で僕たちやお母さんたちが日本語なのはなぜ?」ということばの違いや特徴への疑問を問いとして設定し、英語・日本語両方の歌の教材、絵本を用意して、ことばの違いに関して興味が出る環境を用意する。活動が深まってきたら、それぞれの言葉をつかう人たち、国、文化、他の言語に触れることができるような写真や本を用意する。日本語・英語両方を外国人が保育に入ることにより普段の生活の中で聞き、ことばの違いについて探求できるようにする。写真や動画を使って記録する。
活動が終わったあと、外国人の保育補助を含めて振り返り、内容については掲示し保護者と共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境設定： るみ先生の声がよく聞こえるよう、静かな環境で行う

準備物：「Today I Monday」を用意する

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3歳児クラスで「Today I Monday」を読む

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「open please」の声掛けと共にるみ先生が絵本を出すと、るみ先生と同じように子ども達も「open please!」と声をあげる。何回か絵本をるみ先生に読んでもらった経験から、やりとりを覚えた様子。魚が出てくるページでは「Fish!」と自ら声をあげ、るみ先生が笑顔で受け止めると嬉しそうにする子、魚が食べられている様子から「Is not good」とるみ先生の発音を真似して言っている子がいる。クラスでも日本語 Ver で読んでもらった経験があることから、気分が高まって楽しくなったようで、隣の友達に抱きつこうとする姿がある。一通り読んだあと、絵本の最後のページにピアノの楽譜があることに気づき、「弾いて歌ってみようか!」の問いかけに「うん!」と一人が頷く。ピアノを弾きながら皆で歌ってみる。知っている歌詞は日本語だったため、子ども達は日本語で歌いだしていた。英語の歌 Ver もるみ先生に歌ってもらう。首を縦に振ってリズムを取りながら、メロディを英語で部分的に真似しながら歌う。

5. 振り返り

日本語の絵本と歌で慣れてきたため、日本語も出てきていたが、るみ先生やパーカー先生に英語の絵本を読んでもらうことに慣れてきているためか、感想を英語で言ったり、るみ先生が発した英語の発音を真似する場面が多く見られるようになったと感じる。英語の歌では、日本語で慣れてきたため日本語が多くでていたが、るみ先生の英語の歌にも興味を示して真似しようとしていた。英語の歌を歌う機会をもう少し作ってほしいと思う。

<振り返りによって得た先生の気づき>

